

とくていひえいりかつどうほうじん

にし

特定非営利活動法人ゆすはら西

～有害鳥獣を新たな資源へ～



獣肉解体処理施設とジビエカー



広がる「ゆすはらジビエ」の料理

経緯

- 農産物への獣害をなくすために捕獲するシカやイノシシ等の命を無駄にしたくないという思いから、有効活用策として自家消費をする動きが出始めた。ここから発展した「『ジビエ』をお金に換える仕組み」として当法人を設立(平成30年)し、人も物もお金も循環する活力ある地域づくりを開始した。

取組内容

- 獣肉解体処理施設の建設とジビエカーの導入(平成29年度)。
- 農林水産省の「国産ジビエ認証」を県内で初取得(令和元年12月)。
- シカ・イノシシの食肉加工・販売及び商品開発やゆすはらジビエの魅力を発信。
- 県内外のスーパー・飲食店に良質のジビエを提供。
- ゆすはらジビエを学校給食に利用することで、子供のジビエへの理解を深化させた。

活動の効果

- ジビエカーを導入し、松原地区を中心に運用することで施設への安定的な搬入を行ったことにより、獣肉解体処理施設稼働1年目にして搬入計画頭数を達成し、その後もジビエの安定的な供給を強みとして販路拡大につなげている。
- 令和3年度には自立経営が可能となる収益を達成し、令和4年度もその継続が見込まれている。

応募団体からのアピール・メッセージ

子供たちへの食育、そして将来の担い手の育成へ、さらには地域内外の交流の場の創出へとつなげていきます。